

三宅 正浩

株式会社 y+M design office

【作品名】方杖の家

設 計	株式会社 y+M design office
施 工	坂根住宅
竣 工 日	2020年3月25日

◎建物概要

建 設 地	島根県邑智郡	延 床 面 積	103.00㎡
敷 地 面 積	474.00㎡	構 造・規 模	木造2階建

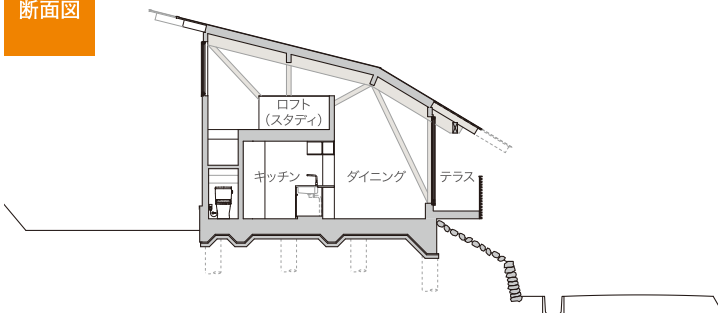
◎設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター		
給 湯 機 器	エコキュート		
冷暖房機器	エアコン	薪ストーブ	

平面図



断面図



設計コンセプト

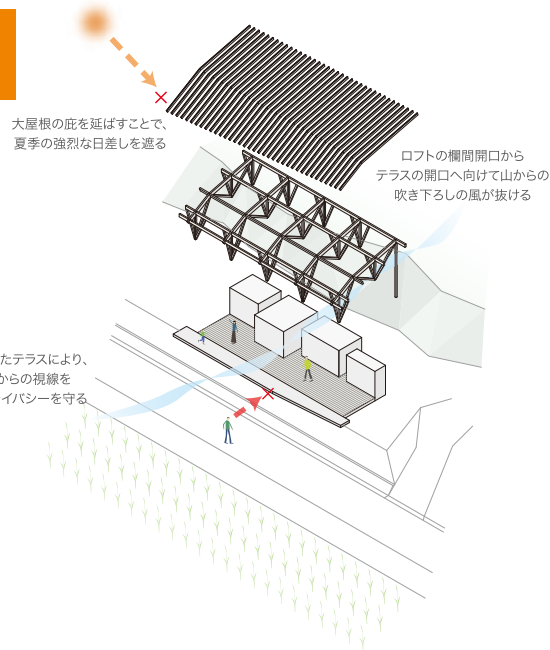
島根県の中山間地域邑智南町に建つ、夫婦と子ども2人の4人家族の住宅である。東側に主人の両親が住まう母屋があるが、周辺には住宅が少なく、棚田や山林が広がる自然豊かな敷地である。周囲の自然環境とふれあうシンプルな生活がしたいとのクライアントの要望により、建具を開けると全てつながるワンルールの空間に水まわりや収納などプライバシー性の高い箱状のボリュームを置き、その上に山陰特有の風雨や積雪を凌ぐ大屋根を架けることで、周辺の自然環境を最大限取り込む生活を実現している。大屋根を支える方杖は、ワンルール空間を実現するとともに空間をやわらかく仕切り、つながりながらも適度に距離感のある生活が可能となる。大きく伸びた軒と、跳ね出したテラスによる半屋外空間は部屋の延長として使えるだけでなく、道路からの視線を遮りプライバシーを守る役割を果たし、のどかな自然とプライバシーを守りたい室内と

の中間領域となる。夏季は大屋根により日射を最小限に抑え、棚田からの涼風を受け止める。西に向かう程屋根を大きく伸ばし、西日への配慮をしている。冬季は日射を最大限取り込みながら、積雪時の雪ずりを道路側溝に落とすことで、雪かきの手間を低減し、裏山で取った薪をストーブに使用することで資源を有効活用できる。また、大きな荷物は母屋に収納し将来の子ども部屋も母屋に設ける計画とすることで最小限必要な部屋のみを配置したシンプルなプランとしている。周辺環境や母屋を含めた様々なスペースは実面積以上の広がりを感じられ、自然環境を取り込むことで、季節や時間帯、子どもたちの成長によって心地よい場所が変化する新たな住まいを提案できた。

審査委員講評

中国地方に暮らす人々には至極当たり前の石州瓦。新幹線で東京からやってくると、赤い屋根が延々と連なる様子が目に飛び込んできます。この作品はそんな風景の中に違和感なく溶け込みつつ、ちゃんと自己主張もしています。山陰地方特有の風雨、積雪に耐えるよう設計された大屋根とそれを支える木組みはこの地のランドマークになることでしょう。

ダイアグラム



- 1 建具を開けると全てつながるワンルールの大空間。プライバシー性を高めながら、はねだしたテラスにより周辺の自然環境を屋内へ取り込む。
- 2 実面積以上の広がりを感じる空間。子どもたちの成長に合わせて変化する。
- 3 西へ向かうほど大きく伸ばした屋根により、西日を抑えるとともに涼風を受け止める。明るく開放的な空間のため日中は照明を使用しない生活が可能となり、屋根の下にしながら季節や時間の移り変わりを感じることができる。



- 4 大空間をあたためる薪ストーブ。燃料の薪を裏山で採取し、資源を有効活用すると共に環境配慮につながる。
- 5 やわらかく仕切られた3つのロフトスペース（物干、スタディ、書斎）